

NST通信

お知らせ

- ◆委員会 12時30分～ 講義室
1月13日(水)
- ◆勉強会 17時40分～ 大会議室
1月20日(水)
- ◇症例検討 栄養管理室
- ◇ミレクチャー 歯科衛生士
- ◇情報提供 ヤクルト販売株式会社

先日、12/5(土)に下関で第8回日本静脈経腸栄養学会中国支部学術集会在開催されました。地方で開催される学会は、それぞれの抱えている問題を地域で共有し、解決していくための情報交換の場となっています。

当院からは中央検査室 平谷検査技師、リハビリテーション科 増川理学療法士がそれぞれ発表を行いました。

演題は平谷検査技師が



『消化器癌術後合併症予測における術前予後栄養指数(PNI)とCONUTの有用性に関する検討』
増川理学療法士が

『術前後における大腸癌手術患者の体組成と運動機能の変化』
をそれぞれ発表しました。お二人に参加後の感想を伺いました。



今回は、「術前後における大腸癌手術患者の体組成と運動機能の変化」という題名で発表させていただきました。

体組成計を使用し、術前・術後1ヶ月の筋肉量を調査しました。術後は、予想通り筋肉量は低下していました。筋肉量低下抑制や合併症予防・早期退院のためには、術前早期からの栄養管理や運動(早期離床)が大切だということに改めて実感しました。

増川理学療法士



降って沸いた発表の話。統計処理が解らず、戸惑いながら勉強し、大変苦労しましたが、たくさんの方々にご指導いただき、なんとか無事発表を終えることができました。終わってみると本当に良い経験になったと思います。

学会は活発な意見交換のある発表も多く、大変興味深かったです。

今後も学会等に参加し、知識を得ることで臨床検査技師として何をすればNST活動に貢献できるかを考えていきたいと思っています。

平谷検査技師



トピックス ～医科・歯科連携による栄養管理について～

来年度より、歯科とNSTの連携に加算が新設される動きとなっています。

当院でも来年1月より、NSTのシートに歯科の介入の必要性を記入する欄を設け、歯科との連携を図って行きたいと考えています。

シート記入の際に、分からない事がありましたら、お近くのNST委員の方におたずね下さい。

